

## 第2章

# 協力隊員向けガイド

# 1 着任までの流れ

任用手続き(辞令交付等)

住居の確保(必要に応じ行政が支援)

交通手段の準備(車両借上げ等)

市内案内・関係機関の紹介

活動環境の整備(PC、メール、SNS運用方針)

着任後すぐに活動を始めるとはならず、**まず生活基盤の安定が最優先**です。

## 2 着任後3か月間のスタートアップ

初期の3か月は「伴走期間」と位置づけ、協力隊（観光分野）は、職員とのコミュニケーションをとりながら動きます。特に次のステップを重視します。

### ① 地域・関係者の把握

市役所内の関係部署

観光協会・商工会などの関係団体

地域リーダー・店舗・観光事業者

### ② ミッション達成のための事業内容の具体化

強みの棚卸し

市の優先度とのすり合わせ

1年目の活動計画を作成

### ③ 定期面談

週次の振り返り

月次レビュー（課題・改善・次月計画）

必要に応じてミッション調整

### 3 活動スタイルと1日のワークイメージ

協力隊（観光分野）の働き方は、一般的な事務職と異なり、市役所外での活動が多い  
観光地・商店・イベント現場などフィールドが中心  
企画・調整・情報発信など多様な業務が混在  
という特徴があります。

例：

午前

市役所で事務作業、SNS投稿、イベントの打合せ

午後

観光案内所での来客対応、地域店舗の取材、写真撮影

夕方

まとめ・レポート、翌日の計画

## 4 地域との関わり方

協力隊（観光分野）は地域と深く関わりますが、何でも引き受ける必要はありません。

### 【引き受けてよいこと】

情報提供（地域の歴史・店舗・行事）

企画や地域資源の共有

活動のフィードバック

### 【断ってよいこと】

個人的な雑用依頼

過度な無償労働

本来のミッションから逸脱するもの

ハラスメント的言動

行政が必ず“盾”になりますので、違和感があれば遠慮なく相談してください。

## 5 メンタルヘルス・相談体制

慣れない地域生活で不安が生じることは珍しくありません。  
岩出市では次の支援体制を整備します。

担当職員との月次面談

必要に応じた臨時面談

外部伴走支援（わかやま地域おこし協力隊ネットワーク）

健康・メンタル相談窓口の案内

「不安を言うこと」は弱さではなく、活動を継続するために必要な行動です。

## 6 SNS・情報発信ルール

観光分野の協力隊はSNS発信が重要なミッションです。  
ルールの基本は次のとおりです。

個人の思想・政治・宗教に関わる投稿は禁止

誹謗・中傷・批判は禁止

市の許可のない公表情報の事前発信は禁止

肖像権、個人情報への扱いに注意

著作物(メディア記事、番組素材等)の無断転載は禁止

炎上リスクを避ける内容・言葉遣い

市アカウント、団体アカウント、個人アカウントを分離

投稿前に「行政への相談」を徹底

## 7 任期終了後のキャリア支援

岩出市では、協力隊の任期後のキャリアを重視しています。

支援内容として：

事業計画の相談

起業支援制度の案内

市内企業とのマッチング

地域プロジェクトへの参加

継続関係人口としての関わり方の提案

3年後「岩出に残る・関わる」選択肢が増えるよう支援します。<sup>45</sup>